

こが KOGA SEA & GREEN
市議会
だより

第108号

令和6年(2024年)

8月20日

発行責任 福岡県古賀市議会

議会報告会 「新議会×新年度予算」————— 2～3p
第2回定例会 主な審議・補正予算
賛否一覧・一部事務組合・陳情 ————— 4～5p
調査、研究し市政につなぐ! 政務活動費 ————— 6～7p
ここが聞きたい! 一般質問 ————— 8～15p
常任委員会報告 ————— 16～18p
議会・委員会以外の活動 ————— 19p



古賀市議会



写真: 民間委託で屋内プールとなった古賀市内の小・中学校での水泳授業。

古賀市議会報告会

令和6年4月20日(土)

リーパスプラザこが 大会議室

～新議会×新年度予算～

議会報告会でいただいたご意見や質問、そのご回答など(後日回答も含みます)

インキュベーションってなに？

「企業および事業の創出をサポートするサービス・活動」で、古賀市は「快生館」で行っている事業。



市民に寄り添った公共交通について。

現在、コガバスでは新規ルートやバス停の設置を検討。秋にはコスモス館、冬には新宮中央駅にまで延伸を検討中。



小・中学校の体育館にはエアコンが付いていない。今後の予定は。

気候変動もある。災害時、一時避難場所にもなるので市には設置を要望している。



水泳授業、プールの管理はどうなっているのか。中学3年生はプールの授業がないが。

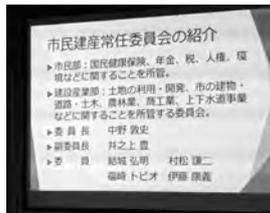
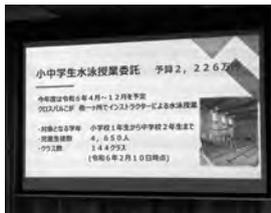
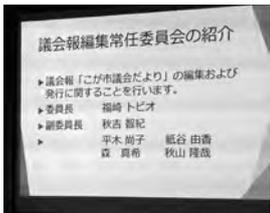
学校のプールを使わないので水道料・消毒代の経費が削減できている。中学3年生は選択制。



コロナ禍が明けて、4年ぶりの「古賀市議会報告会」。当日は直前の悪天候にも関わらず、33人の市民の参加をいただき、大変ありがとうございました。テーマは「令和6年度新予算の報告」と、「今期の議員19人の紹介」。今回は、皆さまに議会を身近に感じていただけるよう、「報告」「議会新体制の紹介」をメインに。そして「市民との意見交換」の時間も取らせていただき、普段気になること、聞きたいこと、要望などのお声をいただきました。なお、会場・時間ではご不便をおかけしましたこと、お詫び申し上げます。



各委員会からの令和6年度予算報告



古賀西小学校では、毎年砂浜を使ったイベントを開催している。遊泳は禁止区域。

古賀市に人を呼び込むために何かしてほしい。砂浜を使ったイベント等の開催は。



古賀グリーンパークにおいては、今後駐車場の拡幅などを検討。公園はペット同伴ができないので、エリア分けするなどしてペット同伴可になるよう要望している。

公園整備を具体的に聞きたい。



アンケートより

報告会の内容や形式についてのご意見

- ・ 今後とも定期的に開催してほしい。
- ・ 詳しい内容や数字はスライドにしてほしい。
- ・ 報告会ではなく意見を聴く会にしてほしい。
- ・ 形式はいいが、時間が足りない。
- ・ 同じ人の質問が続き、質問できなかった。
- ・ もう少しテーブルを増やせないか。
- ・ 市民が納得できる話が率直に披露されていた。

議員に対して期待すること、古賀市の課題は

- ・ 市民の意見に耳を傾け市政に活かして。
- ・ 市長や市の事業の精査を市民の視点から行ってほしい (SNSでの発信などでも可)。
- ・ 住民に寄り添い、日常生活をより豊かに。
- ・ 公共交通の拡充を。
- ・ 議員と子どもたちで話す場を作ってほしい。
- ・ 古賀駅周辺は古賀の良さを活かして開発を。

43号
議案

専決処分 (古賀市国民健康保険税条例の一部改正)

- ・国民健康保険税の後期高齢者支援金等課税額に係る課税限度額の引上げ
- ・国民健康保険税の減額措置に係る軽減判定所得基準額の見直し

主な
審議

第2回
定例会
(6月5日～6月20日)

44号
議案

個人番号の利用に関する条例の一部改正

行政手続における、特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部が改正されたことに伴い、条例の一部を改正

付託▷ 総務委員会 賛成全員 可決

本会議
賛成全員
可決

45号
議案

古賀市税条例の一部改正

地方税法の一部を改正する法律、および地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴い、条例の一部を改正

付託▷ 市民建産委員会 賛成全員 可決

本会議
賛成全員
可決

46号
議案

地区計画区域内の建築物の制限に関する条例の一部改正

建築基準法施行令の一部改正による条項のずれを整理するもの

付託▷ 市民建産委員会 賛成全員 可決

本会議
賛成全員
可決

47号
議案

空家等対策協議会条例の一部改正

空家等対策の推進に関する特別措置法の一部改正に伴う、条項のずれを整理するもの

付託▷ 市民建産委員会 賛成全員 可決

本会議
賛成全員
可決

主な
審議・
賛否一
覧

令和6年 第2回定例会 議案の議員別賛否一覧

会期:令和6年6月5日～6月20日

号数	議案名	結果	今井公一	結城弘明	中野敦史	古賀誠視	森真希	秋吉智紀	村松謙二	福岡トシオ	平木尚子	松島岩太	伊藤康義	大賀文子	大隈慶太郎	奴間健司	秋山隆哉	井之上豊	紙谷由香	森本義征	渡孝二	
報告	令和5年度古賀市一般会計予算の繰越明許	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告	令和5年度古賀市下水道事業会計予算の繰越	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告	古賀市土地開発公社の経営状況	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告	専決処分の報告(交通事故に係る損害賠償)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
42	専決処分(古賀市税条例の一部改正)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
43	専決処分(古賀市国民健康保険税条例の一部改正)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
44	古賀市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
45	古賀市税条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
46	古賀市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
47	古賀市空家等対策協議会条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
48	令和6年度古賀市一般会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○

○は賛成 ●は反対 議員は議席番号順

議長職のため、
表決に参加しない

令和6年度1回目となる補正予算 一般会計補正予算（第1号） 補正額の総額 **1億313万9千円**

補正予算
(6月13日)

第2回
定例会

古賀駅周辺開発に伴う 都市空間情報デジタル基盤構築委託料

(補正予算額：3,360万円、担当課：古賀駅周辺開発推進課)

3D都市モデルを活用した検討等を行うため、都市空間情報デジタル基盤の構築

スマートバス停設置工事費

(補正予算額：1,440万2千円、担当課：経営戦略課)

古賀駅、千鳥駅および福岡東医療センターにデジタル表示機能を備えたスマートバス停を設置し、路線バス利用者等の利便性を向上

電子地域振興券発行事業補助金

(補正予算額：1,374万8千円、担当課：商工政策課)

商工会が実施する キャッシュレス商品券の発行を支援

(販売額：1億5,000万円、プレミアム率20%)

観光ブランディング推進のための委託料

(補正予算額：390万円、担当課：商工政策課)

観光情報誌、PR動画の作成、特産品PRのための市外イベントへの出店等

本会議
賛成多数
可決

一部事務組合議会報告

議長 渡 孝一

古賀高等学校校組合議会

令和6年3月28日第1回臨時議会開催。

令和6年度補正予算（第1号）が上程され、歳入歳出それぞれ約995万円を計上。歳出の主なものとして、生成AI体験業務委託料約900万円などが計上され、賛成全員で可決。
また、教育長に長谷川清孝氏が選任されました。

玄界環境組合議会

令和6年4月30日第1回臨時議会開催。

宗像清掃工場吸引車購入契約（約1640万5千円）の締結が上程され、賛成全員で可決されました。

粕屋北部消防組合議会

令和6年5月24日第1回臨時議会開催。

組合議会会議規則の全部を改正する規則の制定、および地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定が上程され、賛成全員で可決。

また、令和6年度一般会計において、歳入歳出それぞれ約100万円を計上する補正予算（第1号）が上程され、賛成全員で可決。
その他、災害対応特殊消防ポンプ自動車の取得（約5324万円）が上程され、賛成全員で可決。

陳情

6年陳情1

ガザ地区の即時停戦のための積極的
外交を政府に要求する意見書提出を
求める陳情書

陳情者 三木 直実

■おわびと訂正

市議会第107号について誤りがありましたので、訂正の上おわびいたします。

10ページ

古賀市教育委員会委員長の任命

【誤】長谷川 清隆 ↓ 【正】長谷川 清孝

調査、研究し 市政につなぐ！

- ・古賀市の政務活動費は、月1万円(年額12万円)が交付されます。
 - ・残金は返還し、不足分は個人負担となります。
 - ・領収書(1円から)を添付した報告書を毎年提出します。
 - ・詳細は古賀市議会ホームページにて閲覧できます。
- ※スペースの関係上、提出報告書の一部を掲載しています。また構成上、掲載順も不同です。
※令和5年度は改選のため、6月～3月(年額10万円)分が交付されました。

古賀市政務活動費 🔍 検索



井之上 豊 公明党

全国地方議会

サミット2023

東京都 早稲田大学

令和5年7月5日～6日

「変わる社会・デジタル・新しい民主主義」

JR古賀駅周辺開発

調査特別委員会

第1委員会室

令和5年11月20日

まちづくりデザイナー

戸田 三喜朗氏の講演

平木 尚子 公明党

政務活動費の活用はなし。

森 真希 山海会

JR古賀駅周辺開発に関する東口周辺の道路開発、公園の在り方等、今後の開発を考えるため有識者との意見交換会や議会後、市民へ議会報告書のお届けや報告会など広報・広聴に活用しました。

その他、事務処理に必要な事務用品を購入しました。

大賀 文子 山海会

政策提案に活かすため、議会報告会を開催し、市民と対話や情報交換を行っています。

議会の様子を市民と共有するために、議会報告のニュースを作成し、市民ポランテニアと一緒に配布しています。

その他、政務に必要な事務用品や文房具等を購入しました。

大隈 慶太郎 無会派

福岡食肉センター視察

学校給食に提供されている精肉の安全性や安定供給について学ぶことができました。

福岡市防災センター視察

平成29年11月から福岡都市圏の消防本部指令が同センターに一括管理され、古賀市をはじめ圏内の大規模災害や119番通報集中時の受信・処理能力の向上がなされていることを学びました。

今井 公一 無会派

市民との懇談会(4回開催)

議会活動の報告「お元氣ですか、今井きみかずです」を作成し、個別配布や駅で配布。

予算・決算などを分析するために書籍を購入。資料作りのためのコピー代や事務用品、プリンターのトナー購入。

松島 岩太

自由クラブ

渡 孝二

自由クラブ

福崎 トビオ

自由クラブ

中野 敦史

自由クラブ

伊藤 康義

自由クラブ

秋山 隆哉

自由クラブ

国土交通省、内閣府、観光庁に視察研修を行いました。国土交通省では、交付申請

までの手続きについて3年か5年をめどに整備計画が必要であり、事前評価の結果がわかる資料とともに、2月までに国土交通省に提出すること。また、社会資本整備総合交付金の基幹事業の1つである都市公園事業の概要について説明を受けました。国費率や対象事業や防災公園の交付対象要件等についても調査研究しています。

会派としては、古賀グリーンパークの改修事業が古賀市の中でも最重要課題ととらえており、財源の確保、さらに

は手法や申請時期の確認は本事業が活用する上で、大変参考になり、今後古賀市と一体になって取り組もうと考えています。

内閣府では地方創生拠点整備交付金について募集時期や実施計画の提出締め切りについて調査いたしました。当初予算と補正予算の取り扱いや、実施計画策定のために取り組む要因についても大変参考になりました。

本事業と社会資本整備総合交付金を組み合わせることが、改修への近道であり、地方のやる気と実力が問われる取り組みだと実感しました。

観光庁では、事業スキーム補助対象事業や補助率の説明、さらにDMO体制整備事業について調査を行い、古賀市観光推進計画的な明確な方針が必要であり、そのうえで、DMO体制整備であることから、手法と手順を明確にすることで、古賀市の政策立案を支援します。

古賀 誠視

市民クラブ

ホームページを開設して取り組んだ活動内容を掲載し、市民と地域の皆さまと情報を共有し、議会活動につなげた。「社会新報」「新聞赤旗日曜版」「開放新聞」を購読し議会活動につなげた。

地方議員研究会

福岡市博多区

令和5年7月10日
議員が知っておきたい財政の仕組み、知っておきたい質問の仕組みを学んだ。

紙谷 由香

市民クラブ

ここでしか聞けない！女性議員に対するハラスメント研修

福岡市 令和6年1月30日
さまざまな現場であり得るハラスメント事例を聞き、声をあげられる仕組みづくりの必要性を痛感した。
定例会後に活動報告を作成し各戸配布した。

結城 弘明

市民クラブ

地方議会研修会

一般質問と質疑との本質は

講師 自治体議会研究所

江上 隆行先生
令和5年7月8日

一般質問は個々の議員が定例会において市長と政策論議をし、実現へ導く論議である。高い知見から課題の把握・情報収集力、調整能力向上に絶えず研鑽し議会機能強化を図り追認から政策提言へ帰結すべきである。責任と納得の成果が期待される。

村松 謙二

市民クラブ

全国地方議会サミット2023

東京都 早稲田大学
令和5年7月5日～6日
地方議会でデジタル技術を活用したさまざまな先進事例について調査・発表があった。

秋吉 智紀

市民クラブ

PARK・PFI勉強会

大濠テラスなどを手掛けた第一人者に話を伺った。
行政主導の開発は全国各地

森本 義征

友和

奴間 健司

友和

2023年7月、香川県の小児生活習慣病予防健診事業を視察しました。13日には37年前から中学生を対象に血液検査を実施し、全県に広げる原動力となった松原病院を視察。糖質・脂質異常を把握し保健指導により改善が図られること、肥満児に限定すると見落としがあること等を学びました。14日には三木町役場と香川県庁を訪問。香川県では全市町で小中学生の血液検査が実施され受診率は90%前後。経費の半分は県補助です。今回の視察は秋吉智紀議員と合同で実施しました。

で減少しており、古賀市も取り入れるべきだと強く認識した。
香川県三木町視察
会派友和を参照。

ここが聞きたい！

一

般

質

問

質問席

災害に備えて何をするのか。	井之上 豊
①全ての子どもが共に学び合う教育を ②歴史に学び、平和と継承を進めるために	森 真希
①古賀市の交通政策をどう進めるのか ②デジタル技術の導入で窓口業務はどう変わる	古賀 誠視
①子ども食堂を全ての市民の居場所に ②温暖化から子どもの命を守る古賀市に ③生きづらさに寄り添う社会を	紙谷 由香
地方経済を活性化し、にぎわいを創出する「祭り」の強化	伊藤 康義
古賀市の食と農と食育について	秋山 隆哉
古賀市の環境行政について	中野 敦史
①公共交通について ②宮地岳線跡地利用について	大賀 文子
出生数の過去最低更新～現状認識と対策を探る～	奴間 健司
①不登校児童へ手厚い支援を ②西鉄宮地岳線跡地の説明を求める ③リーパスプラザこがの活性化を	秋吉 智紀
①災害と向き合って ②子どもにやさしいまちづくりについて	平木 尚子
自治体を取り巻く社会経済環境の変化にどのように対応するのか。	大隈 慶太郎
①マスタープランの進捗状況と見えた課題と対策は ②西鉄宮地岳線跡地における住民との対話で市民の意見は反映されたか	村松 謙二
①古賀市の未来ある子ども達のために何が出来るか。 ②市民がこれからもずっと住み続けたいと誇れるまち、子どもが大切にされるまちに。	今井 公一

一般質問は、議員が市政全般について現状や方針を問うものです。
 一人30分（答弁を含まず）の持ち時間で質問します。
 掲載している内容は、質問した議員自身の責任でまとめたものです。
 掲載は通告届出順です。

中継・録画は、
インターネットで
視聴できます





井之上 豊
(公明党)

災害に備えて何をするのか

答 補助制度や現地の経過観察等行っている

議員 警固断層と西山断層との関わりはどう思うか。

市長 過去に発生した地震では、警固断層と西山断層の活動が互いに影響を与えた事例は確認されておらず、知見を持ち合わせていない。

議員 古賀市の建物の耐震基準はどうなっているのか。また、その調査と対策は。

市長 耐震化率の調査は住宅土地統計調査を用い、木造戸建て住宅および共同住宅の戸数、築年数を抽出し新耐震木造住宅検証法による耐震基準が適用される昭和56年6月を基準に耐震化・非耐震化の推計を行っている。平成30年に実施された住宅・土地統計調査では、木造戸建て住宅および共同住宅の全戸2万2851戸のうち、1万9953戸について耐震性があり耐震化率は97・3%と推計している。本市

耐震基準



の取り組みとして耐震改修セミナーや耐震診断アドバイザー制度を広報などで周知している。

議員 古賀市の液化化対策と盛土についてはどうなっているのか。

市長 福岡県が公表している福岡県地震に関する防災アセスメント調査報告書を活用しながら、液化化の恐れがある区域を周知する等により対策を促している。盛土については、古賀市盛土造成地マップを公表し年一回、現地

の経過観察を行っている。

議員 施政方針ではインクルーシブ教育を推進するとされた。支援を必要ない児童・生徒の現状は。

教育長 令和6年度の特別支援学級在籍の児童生徒数は、小学校322人54学級、中学校180人29学級。通級による指導は小学生84人、中学生26人。

議員 国連は日本に「障がいのある子どもを分離した、特別支援教育をやめるように」勧告している。どう受けとめているか。

教育長 世界レベルでの包含インクルーシブにはなっていないと認識している。法律の壁と闘いながら行っていきたい。

議員 通級指導教室を充実し、分離教育を見直してはどうか。

教育長 通級指導教室は今年度特に注視している。自校方式を検討し増やしていきたい。

議員 2023年の不登校児童・生徒数は。



森 真希
(山海会)

インクルーシブ教育の推進は

答 さまざまな課題がある

議員 施政方針ではインクルーシブ教育を推進するとされた。支援を必要ない児童・生徒の現状は。

教育長 令和6年度の特別支援学級在籍の児童生徒数は、小学校322人54学級、中学校180人29学級。通級による指導は小学生84人、中学生26人。

議員 国連は日本に「障がいのある子どもを分離した、特別支援教育をやめるように」勧告している。どう受けとめているか。

教育長 世界レベルでの包含インクルーシブにはなっていないと認識している。法律の壁と闘いながら行っていきたい。

議員 通級指導教室を充実し、分離教育を見直してはどうか。

教育長 通級指導教室は今年度特に注視している。自校方式を検討し増やしていきたい。

議員 2023年の不登校児童・生徒数は。

多様性を尊重する教育を

インクルーシブ教育とは？

インクルーシブ教育とは、国籍や人種、言語、性差、経済状況、宗教、障害の有無にかかわらず、すべての子どもが共に学ぶ教育のこと

現在の日本の教育



インクルーシブ教育



市長 今後の取り組みに活かしたい。

議員 合計231人。

教育部長 小学校98人・中学校133人

議員 こども家庭庁は子どもたちの居場所づくりに、関係機関の役割を盛り込んだ指針を策定している。検討してはどうか。

教育部長 放課後子ども広場など、居場所の充実に取り組む。

歴史に学び、平和と継承を進めるために

議員 来年は戦後80年、古賀市が「非核恒久平和都市」を宣言して50年になる、平和首長会議の署名をQRコード付きの懸垂幕で呼びかけてはどうか。



古賀 誠視
(市民クラブ)

公共交通の広域化に至った経緯は

答 新宮へのニーズが高くコガバスの運行を検討

議員 経営戦略課に新たな交通政策係が設置されたが設置の目的は。

が設置されたが設置の目的は。

市長 古賀市地域公共交通計画に基づ

き、地域の実情に合った、公共

交通ネットワークの形成に力点

を置くために設置した。

議員 新宮中央駅への公共交通の広域

化に至った背景や、経緯は。

市長 小竹区地域協議会が発足し、生

活ニーズとして、新宮中央駅方

面への移動やコスモス館への買

物ニーズが高いことから、新た

なコガバス路線の運行を検討し、

秋頃にコスモス館と小竹区内を

結ぶルートでコガバスの運行を

開始し、冬頃に新宮中央駅まで

延伸したルートの運行を予定。

議員 新宮中央駅と小竹間での乗降場

所について新宮町側にも設置す

る予定なのか。

総務部長 現在、協議中だが小竹区内に

6カ所程度、新宮町に3カ所程

度の設置を考えている。

議員 デジタル技術の導入で窓口業務

はどう変わるのか。

市長 コンビニ交付、公式LINEに

よる電子申請、公開型地理情報

システム古賀マップなど「書か

ない窓口・行かない窓口」の利用

拡充で、申請や手続がいつでも

どこでも行え、利便性が向上し、

窓口の混雑解消が見込まれる。

議員 窓口の受付時間の短縮で職員の

働き方に与える影響はどうか。

市長 現在は窓口の開庁時間は残業を

前提とした労働形態で、経費削

減や職員の健康維持につながる。

新たに新宮中央駅へ乗り入れ予定のコガバス



一般質問



紙谷 由香
(市民クラブ)

子ども食堂を全ての市民の居場所に

答 寄り添う在り方として非常にいいもの

議員 子ども食堂を市民の居場所と位

置つける支援策は。

市長 子ども食堂に限らず、地域にお

いての多世代交流の場であり、

つながりや交流を深める居場所

としての役割を果たす意義があ

る。今年度から、市独自の補助

制度を創設。

議員 子どもから高齢者、障がいがあ

る人誰もが集える「こちゃまぜ」

の集いの場支援はできないか。

市長 地域課題が多様化する中で、地

域福祉の観点から、情報の共有

や一体的に対応できるよう、重

層的な支援体制で事業を進化さ

せていく。

議員 温暖化から子どもの命を守る古賀市に

教育長 学校での熱中症対策は。

小・中学校全ての教室にエア

コンを設置済みであり、屋外に

ミストシャワーやテントを設置

して対策をとっている。また、

暑さ指数、子どもの様子を見な

から対応している。

議員 古賀東中学校の体育館に空調整

備をされるが、今後、他の体育

館の空調整備はどのように進め

るのか。

教育長 部活動を含む学校教育活動の

充実、社会体育団体や地域活動

行事等の利用。あわせて、防災

拠点の観点なども踏まえて、今

後は全ての小・中学校の体育館

等への空調整備を進めたい。

※その他の質問

生きづらさに寄り添う社会を

誰もが集う子ども食堂





伊藤 康義
(自由クラブ)

経済活性化とにぎわい創出をする祭りの強化

答 祭りはまちづくりの原点

市長は祭りの経済効果をどう分析するか。

市長 祭り当日だけでなく、本市の魅力を知っていただいている。

議員 その他に、祭りの波及効果で隣商店や飲食店は買物や飲食で潤っている。他にどのような効果があるか考えたことがあるか。

市長 多くの人の協力による連帯意識の成就、愛着や誇りなどの成就が考えられる。

議員 市長の考えの通り、祭りを通して我がまちへの郷土愛と絆が強く結ばれる。それは、まちづくりへの原点だと考える。そこに本市は十分な補助できているか。

市長 現在補助は行っているが、従来のやり方では、物価高騰の影響により経費が膨らんでおり、関係者の工夫で効率的な運営を寄与していただいていると聞いている。

議員 市民の安全面や交通手段など、公共性が高いものは市が負担す

るべきである。

市長 議員の定義はもつともであり、公共性の高いものに関しては、本市がきちんと対応する。

議員 まちがひとつになる。そのステップである祭りを強化する事は経済面・にぎわい創出、そして、まちづくりにつながり、それは、将来の古賀市を創生する子どもたちにつなげるものである。市の柔軟かつ誠実な対応を求める。

地元高校生たちがボランティアで参加



秋山 隆哉
(自由クラブ)

古賀市の食と農と食育について

答 食と農の理解醸成と食育推進に努める

議員 食育の現状は。

市長 子どもの頃からのさまざまな経験を通じ、「食に関する知識」や「食を選択する力」など基本的な食生活習慣を習得できるように食育の推進に努めている。

議員 食育のはじめの一步はどここと考えるか。

市長 家庭であると考ええる。

議員 食と農と食育の課題は。

市長 特に若い世代において、食育に対する関心も少ない状況が見られた。農業従事者をはじめ、食に関わる人々の活動や、自然の恩恵に対する感謝の念の希薄化につながっていると考えられるため、改めて食を生み出す農の重要性について理解を促していく必要がある。

議員 食と農と食育の未来は。

市長 市民が主体的に基本的な食生活習慣を獲得・維持できるよう、情報発信や啓発に努め、食と

農への理解醸成と食育の推進を図っていく。

議員 わがまちの根幹とも言える「食」と「農」、それを伝える「食育」にしっかりと向き合い、先達のおもいを十分に汲み、理解し、市政に生かしていただきたいと切に願う。

市内での田植えの様子



市内幼稚園での泥リンピックの風景





中野 敦史
(自由クラブ)

竹林整備・リサイクル・地域猫について

答 それぞれ前向きに整備を進めていく

議員 放置竹林の整備に対する制度設計が急務と思うが。

へ向けて準備を進める。

市長 市長就任以来の懸案事項である。規模が大きいいため、公民連携で取り組むような仕組みづくりも考えながら、他自治体の情報も踏まえ、しっかりと検討と取り組みを考えていきたい。

議員 地域猫に対する避妊去勢手術の際の一時立替制をチケット制にし、手出しをしなくても良い方策を考えられないか。

議員 農水省が取り組みを推進しているバイオ炭の農地施用のような、「ゼロカーボン」の実現に向けた竹の有効活用に対する助成など、市としての支援は。

市長 保護猫団体の方々とも協議し、ボランティアの方が利用しやすい環境づくりを検討していく。

議員 新たな家族とつながる率を上げるために、公共施設など少しでも広いスペースを保護猫の譲渡会場として使用できないか。

市長 環境を保全するという視点からも前向きに検討していく。

議員 魚滓をリサイクル施設に搬入する際に必要な、「再生利用運搬許可」の許認可制度が古賀市にはない。構築するべきではない。

議員 西鉄宮地岳線跡地利用
合意がとれた地域から工事に取り掛かるとしているが、跡地利

市長 4Rを推進する市として、構築

議員 多くの自治体で路線バスの撤退が問題化している。古賀市は対策を検討しているか。

議員 「のるーと」は、費用対効果が課題。コガバスに集中させる選択肢はあるか。

議員 市民参画のために、地域公共交通協議会がある。全行政区に設置する構想はあるか。

議員 経営戦略課長
実証実験もかねて、検討する。

議員 経営戦略課長
地域の希望によって設置する。

議員 マイカーが不要なくらい、便利な公共交通が理想。市民の意識改革と参画が必要と考える。行政区に、地域公共交通協議会の積極的な呼びかけが必要。

議員 多くの自治体で路線バスの撤退が問題化している。古賀市は対策を検討しているか。

議員 経営戦略課長
文書等はない。

議員 建設産業部長
文書等はない。

議員 合意確認のルールなどはあるか。

議員 合意確認のルールなどはあるか。

議員 地域との、合意文書等はあるか。

議員 地域との、合意文書等はあるか。

議員 通学路の安全確保、緑道公園をつくって、桜の木を残して等の、市民の要望に対してどのように回答したか。

議員 通学路の安全確保、緑道公園をつくって、桜の木を残して等の、市民の要望に対してどのように回答したか。

議員 整備の結果が回答である。

議員 整備の結果が回答である。

議員 経過が市民に分かりにくい。ホームページだけでなく、「こがんと」や回覧板で、全市民に説明する必要がある。

議員 経過が市民に分かりにくい。ホームページだけでなく、「こがんと」や回覧板で、全市民に説明する必要がある。

議員 西鉄宮地岳線跡地利用
合意がとれた地域から工事に取り掛かるとしているが、跡地利

議員 多くの自治体で路線バスの撤退が問題化している。古賀市は対策を検討しているか。

議員 経営戦略課長
実証実験もかねて、検討する。

議員 経営戦略課長
地域の希望によって設置する。

議員 マイカーが不要なくらい、便利な公共交通が理想。市民の意識改革と参画が必要と考える。行政区に、地域公共交通協議会の積極的な呼びかけが必要。

議員 多くの自治体で路線バスの撤退が問題化している。古賀市は対策を検討しているか。

議員 経営戦略課長
文書等はない。

議員 建設産業部長
文書等はない。

議員 合意確認のルールなどはあるか。

議員 合意確認のルールなどはあるか。

議員 地域との、合意文書等はあるか。

議員 地域との、合意文書等はあるか。

議員 通学路の安全確保、緑道公園をつくって、桜の木を残して等の、市民の要望に対してどのように回答したか。

議員 通学路の安全確保、緑道公園をつくって、桜の木を残して等の、市民の要望に対してどのように回答したか。

議員 整備の結果が回答である。

議員 整備の結果が回答である。



竹林整備は急務

地域猫活動の環境づくり



大賀 文子
(山海会)

古賀市が目指す公共交通の理想像は

答 まちを支え地域をつなぐ公共交通

議員 多くの自治体で路線バスの撤退が問題化している。古賀市は対策を検討しているか。

用の対話集会は終了したか。

議員 「のるーと」は、費用対効果が課題。コガバスに集中させる選択肢はあるか。

市長 必要な行政区は、まだある。

議員 市民参画のために、地域公共交通協議会がある。全行政区に設置する構想はあるか。

議員 地域との、合意文書等はあるか。

議員 経営戦略課長
実証実験もかねて、検討する。

議員 建設産業部長
文書等はない。

議員 マイカーが不要なくらい、便利な公共交通が理想。市民の意識改革と参画が必要と考える。行政区に、地域公共交通協議会の積極的な呼びかけが必要。

議員 合意確認のルールなどはあるか。

議員 経営戦略課長
地域の希望によって設置する。

議員 合意確認のルールなどはあるか。

議員 多くの自治体で路線バスの撤退が問題化している。古賀市は対策を検討しているか。

議員 建設産業部長
文書等はない。

議員 「のるーと」は、費用対効果が課題。コガバスに集中させる選択肢はあるか。

議員 合意確認のルールなどはあるか。

議員 市民参画のために、地域公共交通協議会がある。全行政区に設置する構想はあるか。

議員 地域との、合意文書等はあるか。

議員 経営戦略課長
実証実験もかねて、検討する。

議員 建設産業部長
文書等はない。

議員 マイカーが不要なくらい、便利な公共交通が理想。市民の意識改革と参画が必要と考える。行政区に、地域公共交通協議会の積極的な呼びかけが必要。

議員 合意確認のルールなどはあるか。

議員 経営戦略課長
地域の希望によって設置する。

議員 合意確認のルールなどはあるか。

議員 多くの自治体で路線バスの撤退が問題化している。古賀市は対策を検討しているか。

議員 建設産業部長
文書等はない。

議員 「のるーと」は、費用対効果が課題。コガバスに集中させる選択肢はあるか。

議員 合意確認のルールなどはあるか。

議員 市民参画のために、地域公共交通協議会がある。全行政区に設置する構想はあるか。

議員 地域との、合意文書等はあるか。

議員 経営戦略課長
実証実験もかねて、検討する。

議員 建設産業部長
文書等はない。

議員 マイカーが不要なくらい、便利な公共交通が理想。市民の意識改革と参画が必要と考える。行政区に、地域公共交通協議会の積極的な呼びかけが必要。

議員 合意確認のルールなどはあるか。

議員 経営戦略課長
地域の希望によって設置する。

議員 合意確認のルールなどはあるか。

議員 多くの自治体で路線バスの撤退が問題化している。古賀市は対策を検討しているか。

議員 建設産業部長
文書等はない。

議員 「のるーと」は、費用対効果が課題。コガバスに集中させる選択肢はあるか。

議員 合意確認のルールなどはあるか。

議員 市民参画のために、地域公共交通協議会がある。全行政区に設置する構想はあるか。

議員 地域との、合意文書等はあるか。

議員 経営戦略課長
実証実験もかねて、検討する。

議員 建設産業部長
文書等はない。

議員 マイカーが不要なくらい、便利な公共交通が理想。市民の意識改革と参画が必要と考える。行政区に、地域公共交通協議会の積極的な呼びかけが必要。

議員 合意確認のルールなどはあるか。

市民力で乗れないバスから乗れるバスに





顧問 健司 (友和)

出生数、女性人口過去最低 現状をどう見るか

答 危機的状況招いた政治・行政の責任は重い

議員 出生数、女性人口、合計特殊出生率の現状をどう認識するか。

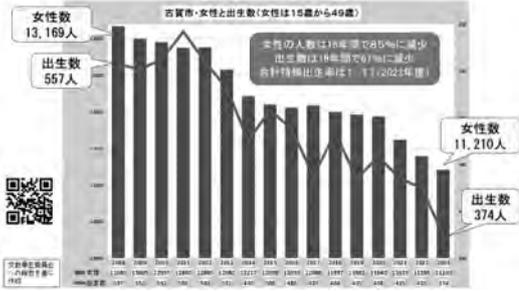
市長 少子化に歯止めがかかっていないと認識。本質的対策が講じられないまま危機的状況を招いた政治・行政の責任は極めて重い。

議員 第3期人口ビジョンおよびまち・ひと・しごと創生総合戦略は議会の議決を求めているかどうか。

市長 提案は受け止める。議会との関係はこれまでの営みを踏まえて整理されるべきものと考えている。

議員 打開策として第2子以降の保育料無償化を提案するかどうか。

市長 重い課題と認識。新たな利用希望による待機児童の大幅増や保育士不足、保育の質の低下を招く懸念、恩恵が高所得層に偏る可能性、財政に与える影響や他市



町村との関係など総合的に判断していく必要がある。

議員 新たに7千万円かかる推計。18歳までの医療費無償化の結果を見ながら検討してはどうか。

市長 内部的には可能性を検討している。近隣市町の話も踏まえてどうするか決めるべきと考える。

議員 子育て世代の要求は強い。ママ懇談会で声を把握してほしい。提起も念頭に置きながら、やれるものをやっていききたい。



秋吉 智紀 (市民クラブ)

不登校児童へ手厚い支援を

答 校内と校外の両面で児童を支援していく

議員 年を追うごとに、不登校児童生徒数とその割合が右肩上がりの増加傾向となっており、古賀市は全国平均より高い割合となっている。どう考えているか。

教育長 未然の防止策として35人以下学級などで対策を打ったものの歯止めがかかっていない。分析を行い、対策を打っていききたい。

議員 校内支援センターに関して、先日視察した古賀北中学校では、座席が4席程度と若干少ないと感じた。もう少しゆとりのある部屋があればよいと思うが。

教育長 教室に余裕のある学校とそうでない学校があるが、机数が増やせるよう校長会で提案していきたい。

議員 あすなる教室に関して、評判はどうか。また、児童センターの利用状況はどうか。

教育部長 あすなる教室は施設も改善され、公園の近くということもあ

り、安心して使用してもらっている。児童センターは数字の把握をしていないが、学校と連携しており、子どもたちの居場所として機能していると考えている。

議員 仕組みから整えることにより、子どもたちの選択肢が増え、多岐に活躍できると思う。

※その他の質問

西鉄宮地岳線跡地の説明を求める
リーパスプラザがの活性化を

不登校児童の現状

		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
不登校児童生徒数、 在籍生徒に占める割合	小学校	人 29	45	52	76	81
		% 0.8%	1.3%	1.4%	2.1%	2.3%
	中学校	人 60	75	94	144	123
		% 3.8%	4.7%	5.8%	8.7%	7.1%
90日以上欠席している 不登校児童数、不登校児童数に占める割合	小学校	人 13	10	22	27	40
		% 45%	22%	42%	36%	49%
	中学校	人 39	48	59	77	81
		% 65%	64%	63%	54%	66%

※児童生徒数は各年度の「5月1日現在児童生徒数に関する調査」より作成
※不登校児童生徒数は各年度の「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の課題に関する調査」より作成



平木 尚子
(公明党)

災害と向き合って

答

県内の配置状況を踏まえ活用は検討

議員 気象防災アドバイザーについての認識は。

市長 気象防災アドバイザーは、所定の研修を修了した気象予報士や気象庁退職者等に、国土交通大臣が委嘱する気象防災のスペシャリストで、防災気象情報の専門的知識や経験に基づき、地域防災力を強化および市民の防災意識向上の支援をしていただける人と認識。

議員 気象防災アドバイザーの活用について、どのように考えるか。

市長 気象防災アドバイザーが地域への防災教育などを行うことは、防災意識や防災力向上に有効であると思われる。大雨等における本市の防災対応の際には、気象台からオンラインで解説される防災気象情報等により、適時避難指示等の発令を行っている。

議員 子どもにやさしいまちづくりについて、子どもたちが主体となり、活躍

市長 気象防災アドバイザーは、所定の研修を修了した気象予報士や気象庁退職者等に、国土交通大臣が委嘱する気象防災のスペシャリストで、防災気象情報の専門的知識や経験に基づき、地域防災力を強化および市民の防災意識向上の支援をしていただける人と認識。

議員 気象防災アドバイザーの活用について、どのように考えるか。

市長 気象防災アドバイザーが地域への防災教育などを行うことは、防災意識や防災力向上に有効であると思われる。大雨等における本市の防災対応の際には、気象台からオンラインで解説される防災気象情報等により、適時避難指示等の発令を行っている。

議員 子どもにやさしいまちづくりについて、子どもたちが主体となり、活躍

市長 気象防災アドバイザーは、所定の研修を修了した気象予報士や気象庁退職者等に、国土交通大臣が委嘱する気象防災のスペシャリストで、防災気象情報の専門的知識や経験に基づき、地域防災力を強化および市民の防災意識向上の支援をしていただける人と認識。

議員 気象防災アドバイザーの活用について、どのように考えるか。

気象庁ホームページより



議員 本年度において、中学生対象の人材育成事業として合宿型でグループワークや講義を行う取り組みや、高校生の意見表明および社会を変えることを実感できる場として、市の課題への政策提言を行うためのワークショップを開催したいと考えている。

市長 多世代で子育てをするためのパフレット作製はいかがか。

議員 よりよい子育て支援につながっていくよう効果的な情報発信に努めていく。

市長 気象防災アドバイザーは、所定の研修を修了した気象予報士や気象庁退職者等に、国土交通大臣が委嘱する気象防災のスペシャリストで、防災気象情報の専門的知識や経験に基づき、地域防災力を強化および市民の防災意識向上の支援をしていただける人と認識。

議員 気象防災アドバイザーの活用について、どのように考えるか。

市長 気象防災アドバイザーが地域への防災教育などを行うことは、防災意識や防災力向上に有効であると思われる。大雨等における本市の防災対応の際には、気象台からオンラインで解説される防災気象情報等により、適時避難指示等の発令を行っている。

議員 子どもにやさしいまちづくりについて、子どもたちが主体となり、活躍

市長 気象防災アドバイザーは、所定の研修を修了した気象予報士や気象庁退職者等に、国土交通大臣が委嘱する気象防災のスペシャリストで、防災気象情報の専門的知識や経験に基づき、地域防災力を強化および市民の防災意識向上の支援をしていただける人と認識。

議員 気象防災アドバイザーの活用について、どのように考えるか。

市長 気象防災アドバイザーが地域への防災教育などを行うことは、防災意識や防災力向上に有効であると思われる。大雨等における本市の防災対応の際には、気象台からオンラインで解説される防災気象情報等により、適時避難指示等の発令を行っている。

議員 子どもにやさしいまちづくりについて、子どもたちが主体となり、活躍

一般質問



大隈 慶太郎

社会経済環境の変化にどのように対応するのか

答

時代に合わせた人事諸制度の取り組みを進めていく

議員 現在の職員定数において、住民サービスの維持向上を図るには職員の能力向上が求められる。

市長 将来の市政を担う中堅から若手職員世代はキャリア形成意識も高まっており、若手職員のニーズを取り入れた人材育成に努める必要があると考えている。

議員 人材の確保と雇用の安定を考えると、「期限の定めのない職員」の採用増が望ましいが、乗り越えなければならぬ課題は何か。

市長 50〜55歳の職員が多い状況であり、こうした偏りを解消するため任期付職員採用で年齢構成の平準化を図らなければならない状況もあるので、引き続き職員数全体のバランスを見ながら、人材確保の安定に努めていく。

議員 住民サービスの向上には、職員

市長 現在の職員定数において、住民サービスの維持向上を図るには職員の能力向上が求められる。

議員 現在の職員定数において、住民サービスの維持向上を図るには職員の能力向上が求められる。

市長 現在の職員定数において、住民サービスの維持向上を図るには職員の能力向上が求められる。

議員 現在の職員定数において、住民サービスの維持向上を図るには職員の能力向上が求められる。

市長 現在の職員定数において、住民サービスの維持向上を図るには職員の能力向上が求められる。

議員 現在の職員定数において、住民サービスの維持向上を図るには職員の能力向上が求められる。

古賀市職員ラスパイレース指数を年齢構成

令和2年→令和5年

①古賀市職員給与のラスパイレース指数
94.2 → 93.4 (0.8ポイント下)

②職員の職級構成
3級職員の割合: 41.7% → 45.8%
約4ポイント増
4級職員の割合: 21.7% → 13.2%
約8ポイント減
5級職員の割合: 2.49% → 8.89%
約6ポイント増

古賀市人事行政運営等の状況の公表より

の意欲を高めることが重要と考えるが、その環境整備にどのように取り組むか。
市役所で働く魅力の発信や多様な人材を確保できる採用試験の工夫、民間経験者や外部人材など多様な人材の登用、確かな成長につながる研修の実施など、時代に合わせた人事諸制度の取り組みを進めていく。働きやすい、働きたいと思ってもらえる職場環境整備に、今後も取り組んでいく。



村松 謙二
(市民クラブ)

古賀市の人口が増えていない要因は

答 これまで進めてきたまちづくりの結果

議員 福岡都市圏の人口は1年間で約1万5千人も増えている。古賀、

福津、粕屋郡7町の5年間の人口推移を見ると、古賀市は横ばいだが、要因はつかんでいないか。

市長 これまで進めてきたまちづくりの結果、現状があると考える。

議員 この表は市長が就任してから5年間の実績だが、要因をつかみ

分析し、対策を打たないといけない。古賀・粕屋地域は同じ福岡市のベッドタウンなのに大きな差異がある。把握していたか。人口推移は把握していないが、毎年度の数字で一喜一憂というか強弱がそれぞれの自治体に出ている。

議員 このまちをしつかり経営するに

しては、現状の要因把握と分析の結果が弱いと感じる。次に西鉄宮地岳線跡地問題だが、市長は対話と称して住民の意見や要

望、懸念などを聞いて行政に反映すると言うが反映しているか。

市長 ささまざまな事業において市民の声、ニーズ等を把握した上で事業の形につないでいる。

議員 対話がいつのまにか、市が設計した道路工事の説明会になって

いる。また、古賀南区の説明会では職員が古賀北区住民をバリエードし、入館を阻止した件だが、職員から報告を聞いた市長は問題ないと答弁した。市長の立場であれば、むしろ職員らに「オープンに住民と向き合うべきだ」と指導助言すべきと思う。

2市7町 5年間の人口推移

3月末	古賀	福津	宇美	篠栗	志免	須恵	新宮	久山	粕屋	合計
2024年	59,211	68,749	36,907	31,191	46,497	29,241	33,026	9,347	48,731	362,900
2019年	59,234	65,102	37,299	31,373	46,087	28,628	32,916	8,963	47,530	357,132
増減	-23	3,647	-392	-182	410	613	110	384	1,201	5,768



今井 公一

西鉄跡地利用計画を中村前市長は変更専決決裁

答 自らの判断で決裁されたと理解している

議員 平成24年に都市計画課が作成した都市利用方針では市民農園を整備するとなっている。これま

での重要な計画が中村前市長によつて「道路計画」に変更され決裁されているが、この時点での

市長 市民アンケートの第一位は遊歩道であった。変更のプロセスに

おいて市民や住民との対話、情報共有、説明がなされた形跡がみられない。田辺市長はこの道路プラス歩道という計画を知っていながら公表していなかったのではないか。毎日、市長として無数の決裁を判断、決断している。中村前市長も負託をうけた政治家として自分への評価にも関わって、自

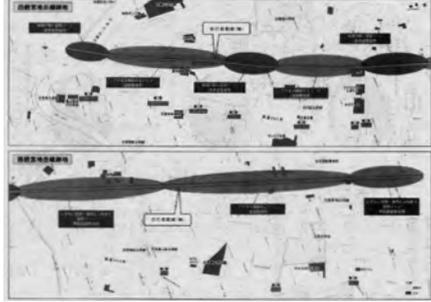
ことを当然、認識しながら自らの責任において決裁されたものと理解している。私が市長になって対話集会等を行っているが、そもそも市の権限において

公共の用に供する用途を決定することができ、そうしたなかでも私が対話を重視している立場から、地元の声を聞いた上で判断するというプロセスをあえて行っている。これはまちづくり基本条例の理念にも通じていると考えている。

議員 令和5年第4回定例会では、古賀西小学校周辺通学路危険性緩和の提案をしたが、市長は地元自治会、学校と共有したいと言ったが、行ったのか。

建設課長 この内容の共有はしていない。

西鉄宮地岳線跡地の利用方針（住民案）



総務

委員会

4月25日

委員長 秋吉 智紀
平木 尚子
副委員長 松島 岩太
紙谷 由香 大賀 文字
森本 義征

自治会の現状

自治会に関するアンケートについての報告がありました。

問 アンケートデータを踏まえてどのように対応するのか。

答 アンケートデータを踏まえて、課題である自治会の加入促進に向けて、自治会の魅力を高めるよう取り組みを進めたい。

問 自治会の加入率についての現状把握は。

答 加入率は69・1%で平成30年と比べて7・2ポイントの減少。各自治体でさまざまな地域課題があるので、実態把握に努める。

問 外国人の自治会加入についての推進は。

答 国籍を問わず自治会加入を勧めており、地域に溶け込みやすいようその地域の暮らしを充実させる取り組みを進めている。

まちづくり推進課

職員の労務管理について

問 女性職員の活躍の推進に向けた多様なポストの配置は。

答 性別によらず本人の能力と意欲を重視し、係長以上の抜擢運用等を決定している。全職員を対象に人事評価や、家庭との両立等の要素も含め、管理職起用の判断をしているが、管理職を志望する割合はまだ少ない状況。

問 EAP（従業員のメンタルヘルスに関するケアや課題解決プログラム）の相談についての取り組みは。

答 相談機関は守秘義務があることから、相談者の了解があれば、フィードバックされるケースもあることから、人事秘書課で対応している。

人事秘書課

古賀市の防災について

問 災害備蓄品について。

答 避難住民1500人の3日間分を、市内の8小学校に分散備蓄しており、市役所の備蓄は災害対応する市の職員用として最低限を備蓄。マンホールトイレは上下水道課が2個備蓄している。

問 災害時における新たな協定締結について。

答 (株) トライアルカンパニーの地域説明会で、市民からの災害時についての意見があり、トライアルも了承されたことから、指定緊急避難場所としての使用と、災害時における生活必需品等の物資を供給する2つの協定を結んだ。



総務課

常任委員会報告

古賀市のDX化の方向性は

問 DXをどのように進めていくのか。

答 総務課が策定している自治体推進計画に沿った対応を行っている。庁内にDX推進会議を設置し、今年7月に会議を行う予定。また、経営戦略課のまち・ひと・しごと創生総合戦略の中において、DXビジョンを定めて、重要施策について検討を行い、DXの在り方を示すような形にしたい。

問 DX化とIT化の違いは。

答 IT化とは、パソコンなどのデジタル技術を導入することで、DX化とは、導入したパソコンで業務を効率化し、業務時間を短縮するようなイメージ。



デジタル推進課

文教厚生

委員会

4月17日
26日

委員長 森 真希
古賀 誠視
副委員長 大隈 慶太郎
今井 公一 奴間 健司
秋山 隆哉

ヘルスアップぷらんに ついて

令和5年度ヘルスアップぷらん推進等についての報告がありました。

問 ヘルスアップぷらんについて学校教育課との連携が大事だと思うが、協議や要望はあったのか。

答 学校の養護教諭等と協議し、子ども版の健康チャレンジ10か条を作成。今後、啓発を一緒に行い、子どもの健康づくり推進事業、骨づくりに関して綿密に連携していきたい。



健康介護課

出生率低下・ 待機児童への対応

古賀市独自で算定した「簡易版の合計特殊出生率」と保育所等の入所状況・待機児童数等についての報告がありました。

問 古賀市の合計特殊出生率は、平成20年から16年間で15%減、生まれた赤ちゃんは最大時との比較で37%減、出生率が1・17という過去最低の記録になっている。この現状をどう感じているか。

答 少子化に歯止めがかかっていない状況と受け止め、庁議等のメンバーでこの数値は早速共有している。

問 保育所等の3月の待機児童が90人だが、今後の対応は。年度末は見た目以上に待機児童が増える傾向があるが、4月には待機児童がなくな入所できている。

子ども家庭センター

リーパスプラザこが リニューアル基本計画

問 リーパスプラザこがリニューアル基本計画について。

答 今ある施設をより有効的に活用し、立地的にJR古賀駅から非常に近い距離にあるという最大の強みを活かしたい。音楽など何かに特化するよりは、幅広くさまざまなことに対応できるようにホールをめざしたい。

問 令和6年度新たに予算化されたリーパスプラザのWiFi工事の完了時期について。

答 9月頃利用開始できるように調整している。



生涯学習推進課

学校給食センターへの 市内視察

6月12日に委員会を開催し、学校給食センターへの市内視察を行いました。

学校給食センターは平成10年4月竣工で、1日の給食数は、令和6年度は小学校8校、中学校3校の計11校でおおむね5600食。米、小松菜、卵は古賀市産を100%使用しており、その他の食材も古賀市産使用に努めています。食育推進事業として、全小学校2年生を対象の給食センター見学・体験学習等を実施しています。



学校教育課

市民建産

委員会

4月23日
24日

委員長 結城 弘明
中野 敦史 村松 謙二
副委員長 福崎 トビオ
井之上 豊 伊藤 康義

税の収納状況は

令和5年度収納状況・滞納処分状況等について等の報告がありました。

問 滞納処分の件数231件は延べ人数か実人数か。また、紛争解決の依頼はあるか。

答 滞納処分の総数は延べ人数であり、紛争解決に関する依頼はない。

問 個人の土地家屋を固定資産評価する際に、航空写真などで変化を確認した場合は、職員が巡回し調査を行っているのか。

答 法務局から登記の異動の書類をもとに、月に1度は現地を回ることになっている。また、航空写真で前年度と比較し、変化が見つかった箇所についても巡回を行い、税を徴収している。

収納管理課

マイナ保険証について

個人番号カード交付枚数、国民健康保険被保険者証等の報告がありました。

問 外出が困難な市民や、病院に入院している人はマイナンバーカードの手続きができるのか。

答 出張支援サービスは昨年度からスタートしており、施設や自宅へ出張し手続きを進めている。

問 令和6年度の保険証の有効期間中に75歳になる人への対応は。

答 令和6年の12月1日までに誕生日を迎える人には紙の保険証を送付し、12月2日以降に75歳になる人はマイナンバーカードを使ってもらうか、資格確認書を送ることになっている。

市民国保課

安全な水の管理

水道週間の取り組みと、令和6年度の工事箇所等の報告がありました。

問 本市における配水管の老朽化率と対応は。

答 設置後40年を越す配水管は約25%だが、有収率は98%を維持できており、更新事業を計画的に実施できている。

上下水道課

農地の保全と活用

有害鳥獣対策、農地パトロールによる遊休農地調査結果等の報告がありました。

問 農地パトロールによって確認された違反転用に対する対応は。

答 所有者への指導を行い、改善が見られない場合は県と共同でさらに指導を行うことになっている。

農林振興課

常任委員会報告

安全な地域と景観

花見佐谷線調査、宮地岳線跡地活用、薬王寺地区の地籍調査予定等の報告がありました。

問 古賀南区にある宮地岳線跡地沿いの桜の木の移植についての検討は。

答 移植に適した時期に施工できないこと、老木であり移植しても根付くか分からないこと、また、地元からの要望により、伐採するかわりに幼木を公園等に植樹する方向で検討。

問 ゾーン30プラス整備の情報等を見守り隊と共有することは可能か。

答 対象エリアに進入する道路全てにゾーン30プラスの標示、看板等を設置する予定であり、見守り隊に情報開示していきたい。



建設課

議会・委員会活動 以外の議員の活動

古賀市議会では、議員のスキルアップのために、勉強会や研修に取り組んでいます。

予算審査特別委員会を 振り返って

予算審議に関する勉強会

5月28日

令和6年度の予算審査特別委員会の終了後に、各議員の振り返りと、今後につなげていくために、予算審議に関して、効率よく疑義を問うための質疑方法や、予算化した事業をさらに展開させていくための意見の伝え方、質疑と質問の違い、質疑をする上でのルール、質疑者としてのマナー等について勉強会を開きました。



議会のデジタル化に 対応するために①

生成AIに関する勉強会

6月26日

生成AIの利用率が急激に向上している、さまざまな業界の流れに対応できるスキルを身につけることと、議会改革の一環でもある議会DX化を進めることを目標として、生成AIの利点、活用するにあたっての注意点等を基礎編と実践編に分けて勉強会を行いました。

(生成AIとは、文章や画像等を生成できるAI)



議会のデジタル化に 対応するために②

タブレット活用検討会

令和3年度にタブレット導入検討会を立ち上げ、議会への導入に関し調査を行い、令和4年9月から古賀市議会ではタブレット端末を導入し、活用しています。

導入することにより、議会や委員会での審議方法の効率化を進めるとともに、資料等の作成に関したペーパーレス化に効果を上げている最中ですが、またまた検討の余地があると考え、タブレット「導入検討会」から「活用検討会」へ変更し、他市町村へ視察に行き、または視察を受け入れ、議会DX化に向けて取り組んでいます。



議会からの報告だけに 終わらない報告会へ

議会報告会幹事会

今回の議会報告会では、令和6年度の予算の報告に加え、参加した市民からの意見を伺いました。

各常任委員会の委員長・副委員長で構成される議会報告会幹事会では、単なる報告会に終わらせず、市民との意見交換を通し、市民の声を市政につなげていこうと取り組んできましたが、これまでに以上に参加数を増やすため開催日数拡大の検討や、次世代や市政に興味を持っていない人へのアプローチ、学校や各団体との連携など、新たな視点を取り入れ、次回以降も充実した報告会になるように話し合いを進めています。



古賀市議会と意見交換

「福岡女学院看護大学」

6月26日、福岡女学院看護大学（以下、看護大学）の学生と古賀市議会と意見交換を行いました。古賀市議会と看護大学は、2015年にパートナーシップ協定を結んでおり、今回9度目の開催となりました。

議員、学生共に自己紹介を行った後、学生より市議会に関して事前学習した内容を発表していたいただきました。議員の仕事内容はこういったものなのか、議会の仕組みや常任委員会の説明、議会の進め方はどう行つて



いるのか、市議会だよりはどれくらいの頻度で発行されているのかなど、事細かな事前学習に学生の熱意が伝わってきました。「どのような方法で情報収集を行っているのか」「住民からどのような声が寄せられているのか」「希望する委員会に入れているのか」「保健師との連携をとっているのはどのような場面か」「保健師に求める能力は何か」など、学生からの鋭い質問に、議員もひと言ひと言丁寧に回答させて

いただき、相互に理解を深めることができました。最初は緊張していた学生たちも、最後は、議会や議員を身近に感じてもらえたようで、今後は選挙などにも関心をもっていきたいという嬉しい声をいただきました。最後に看護大学の教授、松尾先生よりパートナーシップ協定締結9年を振り返つての講演をしていただき、議会、看護大学、保健師、家族など、さまざまな立場の人が支え合つて、健康寿命を延伸させていくことの大切さを、改めて学ばせていただきました。



福岡女学院看護大学（事務局）

092-943-4174

第2回定例会の傍聴者は30人でした。ありがとうございます。

第3回定例会は8月28日（水曜日）開会予定です。

インターネットによる中継・録画配信も行っています。ご利用ください。



令和6年 古賀市議会 第3回定例会会期日程（案）

会期 8月28日～9月26日 30日間

日	8/28	9/2	3	4	5	6	9	10	11	12	17	18	19	24	26
曜	水	月	火	水	木	金	月	火	水	木	火	水	木	火	木
会 議 名	本会議（初日）	本会議（2日目）	常任委員会	常任委員会	常任委員会	補正予算審査特別委員会 決算審査特別委員会	一般質問	一般質問	一般質問	決算審査特別委員会①	決算審査特別委員会②	決算審査特別委員会③	決算審査特別委員会④	決算審査特別委員会⑤	本会議（最終日）
開議時刻は全て9時30分～															

注）会期日程は、8月23日（金）の議会運営委員会決定後、市役所ロビーなどに掲示します。
 ◎本会議ですべての質疑・討論の記録は「議会会議録」に収録されています。また、議会ホームページでもご覧になれます。
 ◎議会の本会議、各委員会は傍聴することができます。
 （本会議の傍聴席は46席、委員会傍聴席は原則5～10席です。）
 ◎請願書の締切りは8月21日（水）午後5時です。

編集後記

表紙の言葉
 専門の指導者や担任の先生に見守られながら、天候に左右されず、楽しく泳ぐ児童たち。

議会報編集委員会に携わり早いもので1年が経ちました。議会の様子を、紙面に収まるよう厳選し、短い文章で書く難しさと闘いながら楽しく活動させていたいただきます。まだまだ学ぶことも多いですが委員の皆さんと一緒に作り、取り組む楽しさも、この紙面で感じていただけたらと思います。

わかりやすく、議会を身近に感じ、知ってもらうことのできる、議会報を届けていきたいと思えます。（森）

議会報編集常任委員会
 委員長 福岡トビオ
 副委員長 秋吉智紀
 委員 森真希
 委員 平木尚子
 委員 秋山隆哉
 委員 紙谷由香

